

議 会 報 告 会 報 告 書

開催日時	平成28年2月15日 10時00分から 平成28年2月15日 11時40分まで			
開催場所	役場3階 302会議室			
参加人数	民生委員・児童委員協議会14人（男性4人、女性10人）、 町福祉グループ2名、社協理事1名			
班構成	1班 藤原 秀策、山本 雅之、神吉 史久、大瀧 金三 河野 照代、岡田 千賀子、松岡 光子			
役割分担	代表者	藤原 秀策	司会進行者	山本 雅之
	報告者		記録者	松岡 光子
報告内容	<input type="checkbox"/> 議会の活動状況 <input type="checkbox"/> 予算等の審議状況 <input type="checkbox"/> その他重要と思われる事項 <議会と語ろう会の懇談テーマ> 民生委員・児童委員の活動について			
テーマに関する質疑	(質疑)		(答弁)	
	Q	協力委員には費用弁償がない。サロン、講演会など活躍してもらっている。次期民生委員を担うのは若い協力委員で、何らかの優遇がないものか議会でも検討できないか。	A	民生委員法第10条に給与は支給しないものとあり、指導訓練や研修についてはこの限りではないとある。研修に参加された方からは、いい勉強させてもらい、協力委員になってよかったとも聞いている。
	Q	治療中で低所得の高齢者に、タクシー料金の補助が出来ないか。例えば、補助の必要性を民生委員が証明する形など考えられないか。	A	補助には本当に必要なひと（対象）を誰がどのように判断するか行政も難しいと思う。困っている方がいるという現状は認識している。提案はヒントになる。
	Q	検討中のコミュニティバスは何人乗りか。	A	10人乗りの大型のワンボックスカーで、運転手を除く9人（車いす対応）。
	Q	以前はあんしんボタン（緊急通報装置）の誤作動が多いと聞いた。最近はどうなのか。	A	以前は小さなボタンであった。現在は大きなボタンになり誤作動は少ない。ただし予期せぬ不具合が生じるということで

	<p>Q 防犯カメラを活用した徘徊対策をしている自治体もあるが、町はどのようにしているのか。</p> <p>Q 町は防犯カメラ設置場所を把握しているのか。</p> <p>Q 町道浜幹線で播磨南小の通学路に信号があれば安全と思う。</p>	<p>更新を検討している。 (福祉グループが回答)</p> <p>A 認知症対応でのカメラ設置はしていない。民間事業者からも通報してもらおう仕組みづくりをしている。声掛けの訓練も必要と考える。</p> <p>A 自治会として設置する場合、町と県から補助金が出る。自治会から申請があった分は把握している。</p> <p>A 通学路の安全対策については、兵庫県公安委員会に申請している。</p>
意見・提言等	<p>(意見・提言等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● あんしんボタンのペンダントが重いと聞いている。更新するのなら軽量なものを検討してほしい。また協力者 3 人の確保や居住地などの問題について考えてほしい。 ● 以前あった身体障害者福祉協議会を再度立ち上げてほしい。 ● 議員も子育て支援センターの行事に参加してほしい。 ● 放課後こども事業として地域の人と共に過ごし、見まもる場所としての児童館が必要である。ふるさと資料館を児童館にしてはどうか。 ● 街灯を増やしてほしい。 	<p>(対応)</p>

備考	<ul style="list-style-type: none">○ 民生児童委員は、自治会長や前任者からの推薦により厚生労働大臣から任命され、任期は3年である。○ 民生委員・児童委員協議会の構成は、総務部会、専門部会の障害者福祉部会、高齢者福祉部会、児童・母子福祉部会の3部会と、主任児童委員4名の計67名で活動している。毎年各部会をローテーションして各分野の見識を広げている。
----	--